

令和4年12月21日

保護者 様

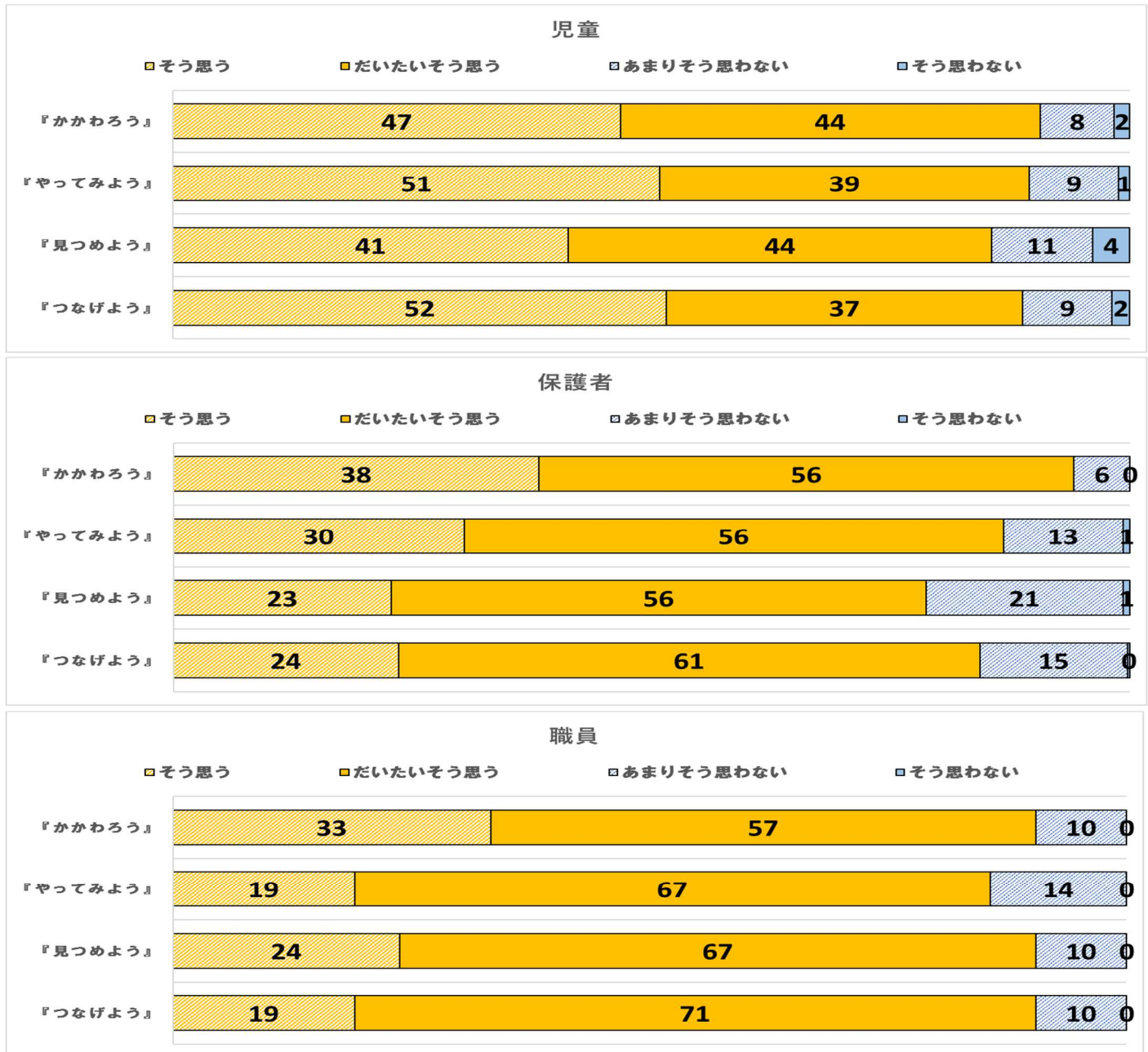
浜松市立大平台小学校長 和田 恵子

「学校に関するアンケート」結果報告

～御協力いただき、ありがとうございました～

厳冬の候、皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、学校教育への御理解・御協力をいただきありがとうございます。

さて、2学期末には「学校に関するアンケート」に御協力いただきありがとうございました。集計結果は以下のようになりました。いただいた評価は、今後の教育活動に生かしていきたいと思っております。今後とも、御理解・御協力をお願いいたします。



【学校教育目標】

未来を切り拓く わかばの子

【キャリア教育のキーワードと付けたい力】

かかわろう

(人間関係・社会形成能力)

相手の思いや立場を尊重して、話し合ったり活動したりする力

やってみよう

(自己理解・自己管理能力)

何事も前向きに挑戦し、困難があってもくじけずに努力する力

見つめよう

(課題対応能力)

取り組みを振り返り、情報を選択・判断して課題を解決する力

つなげよう

(キャリアプランニング能力)

なりたい自分や学びのつながりを意識して、やるべきことに自ら取り組む力

【評価分析】

前期と比べ、全般的に少し評価が高くなりました。中でも、『かかわろう（人間関係・社会形成能力）』と『やってみよう（自己理解・自己管理能力）』の力が高まったとの評価がされました。前期結果報告で実施を宣言した「授業における話し合いやタブレット端末を活用した情報共有の場の確保」や「学習発表会の実施」などに要因があるのではないかと推察しています。

一方、あまり評価が高くなかったものは『見つめよう（課題対応能力）』や『つなげよう（キャリアプランニング能力）』です。これらの力を育むために、3学期には、生活科や総合的な学習の時間を中心に、学びの振り返りに力を注ぎます。

【お知らせ】

- 先日、文部科学省及び浜松市教育委員会より、座席配置の工夫や適切な換気の確保などの措置を講じた上で、給食の時間において会話を行うことも可能としているとの通知がございました。本校では、すでに、市教育委員会の通知を受け、適切な換気の確保や飛沫を飛ばさないなどの措置（例：大声での会話を控える）を講じた上で、会話を行うことを可能としており、黙食は行っておりません。給食のマナーについても、適宜指導をしております。日常生活に戻ることができるよう、一步一步進んでまいります。御理解の程、よろしくお願いたします。※「さくら連絡網」でもお伝えいたしました。
- 本校では、浜松市教育委員会の研究指定校として、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」について研修を進めております。諸外国に比べると日本型の教育は、少ない職員で、「知・徳・体」と幅広い教育活動を推進していると言われております。その状況の中で、本校は、子供達一人一人が主体的に学ぶことができるようにする方策等を研修しています。特に、学習の個性化に適した、生活科と総合的な学習の時間の授業改善に力を注いでいます。学習者主体の学びの充実のため、今後とも研鑽を続けます。
- 学習発表会の際、タブレットを頭の上の方にして撮影された方がいらっしやっって、お子さんの様子をよく見ることができなかつたとお話をいただきました。今後、運動会や学習発表会等でお子さんの様子を撮影する際には、周囲への御配慮をよろしくお願いたします。

「たくさんの友達や先生方との関わりから、勇気や挑む力を高め思いやりや優しい心を広げています。困難な状況の時には、友達や先生方に救われています。」

「学校生活やお友達との関わりのおかげで大きく成長できた一年だったと思います。担任の先生のおかげで楽しく毎日通うことができ、ありがたいです。」というメッセージをいただきました。

今後も、4つの力を育み、子供たちが楽しいと思える学校、保護者の皆様が安心して通わせることができる学校となるよう、努力いたします。